

# 第51回 中央区政世論調査 概要版

令和3年4月実施

## 【調査の項目】

- |            |                         |
|------------|-------------------------|
| 1 定住性      | 9 築地魚河岸                 |
| 2 防災対策     | 10 受動喫煙防止対策             |
| 3 健康診査     | 11 公共施設                 |
| 4 高齢者施策    | 12 デジタル技術を活用した区民サービス    |
| 5 子育て支援    | 13 地球温暖化対策              |
| 6 男女共同参画社会 | 14 中央区コミュニティバス（江戸バス）の運行 |
| 7 防犯対策     | 15 施策の要望・評価             |
| 8 スポーツ     |                         |

【調査対象】中央区に居住する満18歳以上の男女個人（外国籍の方を除く）

【対象者】2,000人

【抽出方法】無作為抽出法

令和3年4月1日現在の住民基本台帳に登録された  
満18歳以上の男女137,494人から一定の割合で系統的に抽出

【調査方法】郵送法（郵送に準じた配布 - 郵送回収）

【調査時期】令和3年4月27日（火）～6月7日（月）

【調査機関】株式会社エスピー研

【回収結果】回収数 1,101 回収率 55.1%

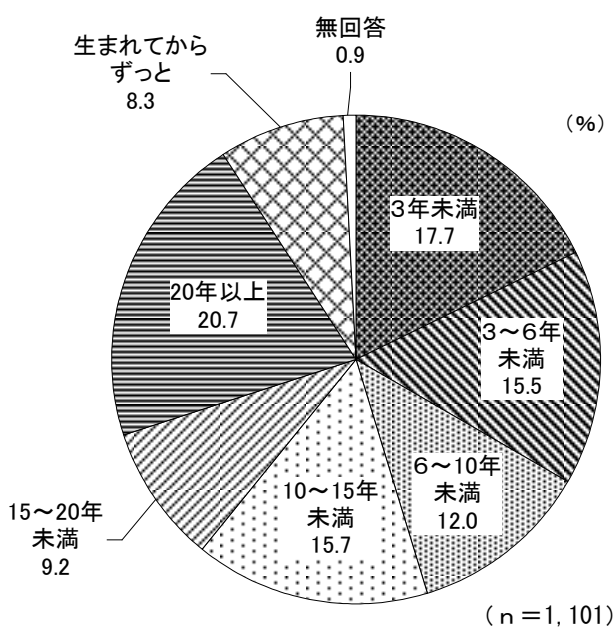


# 1 定住性

## ■ 居住年数

『短期居住者』（「3年未満」と「3～6年未満」の合計）は33.2%で3割を超えている。『中期居住者』（「6～10年未満」、「10～15年未満」および「15～20年未満」の3つの合計）は36.9%で4割近く、『長期居住者』（「20年以上」と「生まれてからずっと」の合計）は29.0%で約3割となっている。

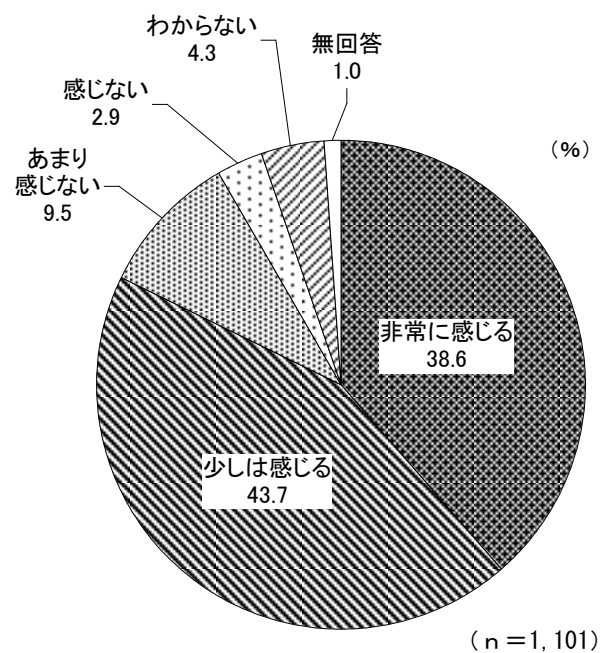
過去の調査結果と比較すると、平成26年以降大きな傾向の違いはみられない。



## ■ 愛着心

『感じる』（「非常に感じる」と「少しは感じる」の合計）は82.3%で8割を超えている。一方、『感じない』（「あまり感じない」と「感じない」の合計）は12.4%で1割を超えている。

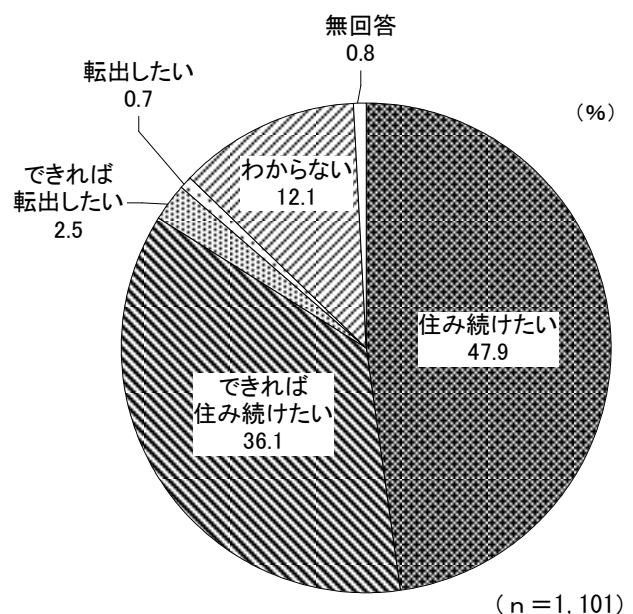
過去の調査結果と比較すると、『感じる』は平成18年以降8割台で推移している。



## ■ 定住意向

『定住意向』（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）は84.0%で8割台半ばとなっている。一方、『転出意向』（「できれば転出したい」と「転出したい」の合計）は3.2%にとどまっている。

過去の調査結果と比較すると、『定住意向』は昭和63年以降8割台で推移している。

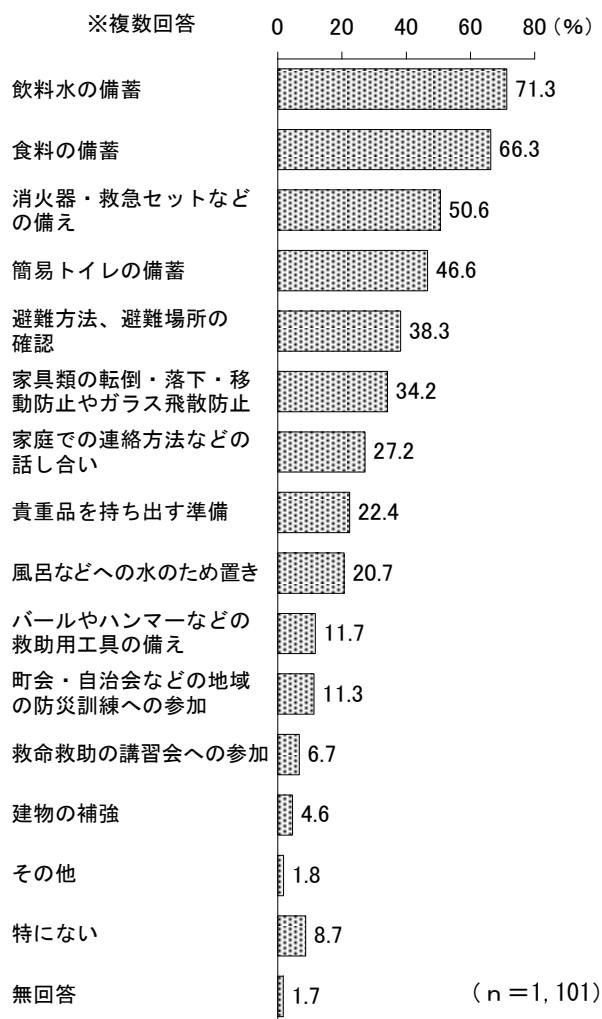


## 2 防災対策

### ■家庭での災害に対する備え

「飲料水の備蓄」(71.3%)が7割を超えて最も高くなっている。次いで、「食料の備蓄」(66.3%)、「消火器・救急セットなどの備え」(50.6%)、「簡易トイレの備蓄」(46.6%)、「避難方法、避難場所の確認」(38.3%)、「家具類の転倒・落下・移動防止やガラス飛散防止」(34.2%)などとなっている。

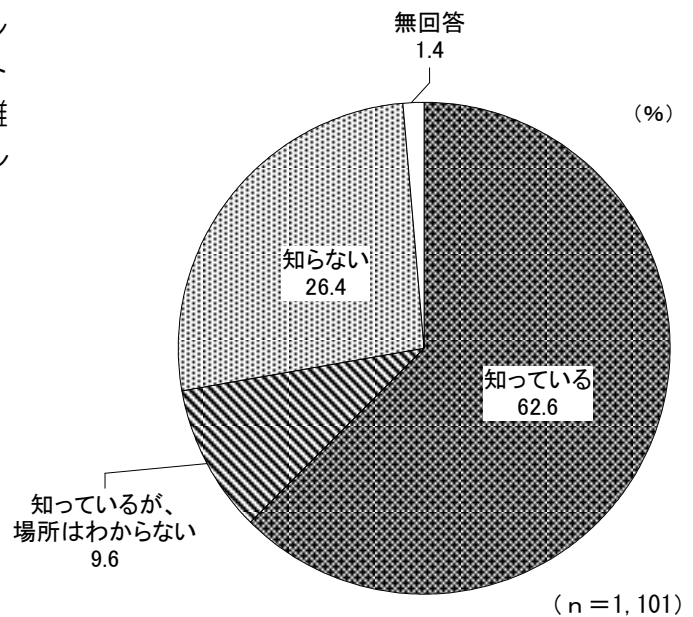
昨年の調査結果と比較すると、「簡易トイレの備蓄」は6.5ポイント、「消火器・救急セットなどの備え」は5.2ポイント、「避難方法、避難場所の確認」は3.9ポイント、それぞれ増加している。



### ■防災拠点の認知度

「知っている」(62.6%)が6割を超えて最も高くなっている。「知っているが、場所はわからない」(9.6%)は1割で、「知らない」(26.4%)は2割台半ばとなっている。

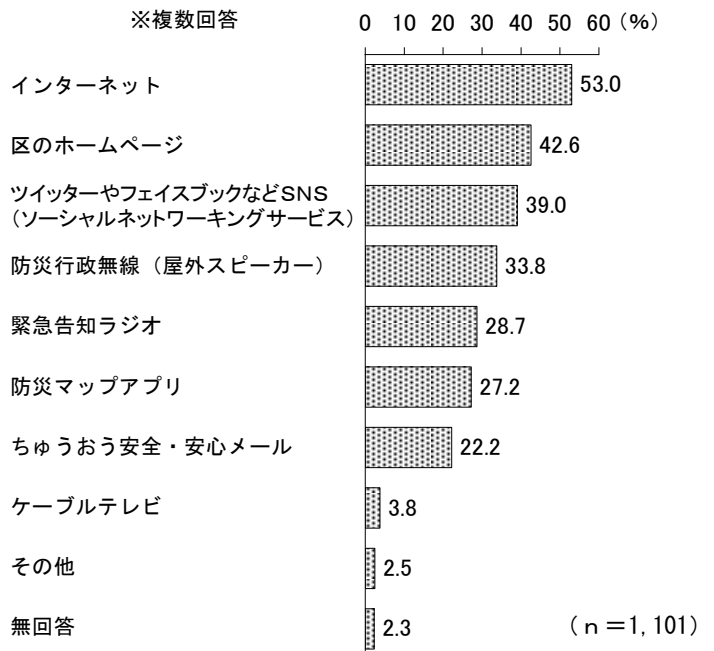
過去の調査結果と比較すると、「知っている」は平成28年以降6割台で推移している。



## ■災害情報を得る手段として有効だと思うもの

「インターネット」(53.0%)が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「区のホームページ」(42.6%)、「ツイッターやフェイスブックなどSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)」(39.0%)、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(33.8%)、「緊急告知ラジオ」(28.7%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「区のホームページ」は6.8ポイント増加している。一方、「緊急告知ラジオ」は3.9ポイント、「インターネット」は3.2ポイント、それぞれ減少している。

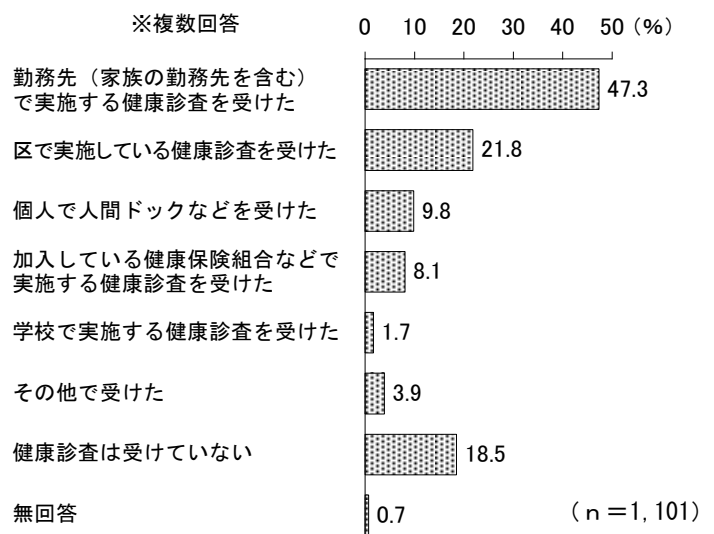


## 3 健康診査

### ■健康診査の受診状況

「勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受けた」(47.3%)が5割近くで最も高くなっている。次いで、「区で実施している健康診査を受けた」(21.8%)、「個人で人間ドックなどを受けた」(9.8%)、「加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた」(8.1%)などとなっている。一方、「健康診査は受けていない」(18.5%)は2割近くとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

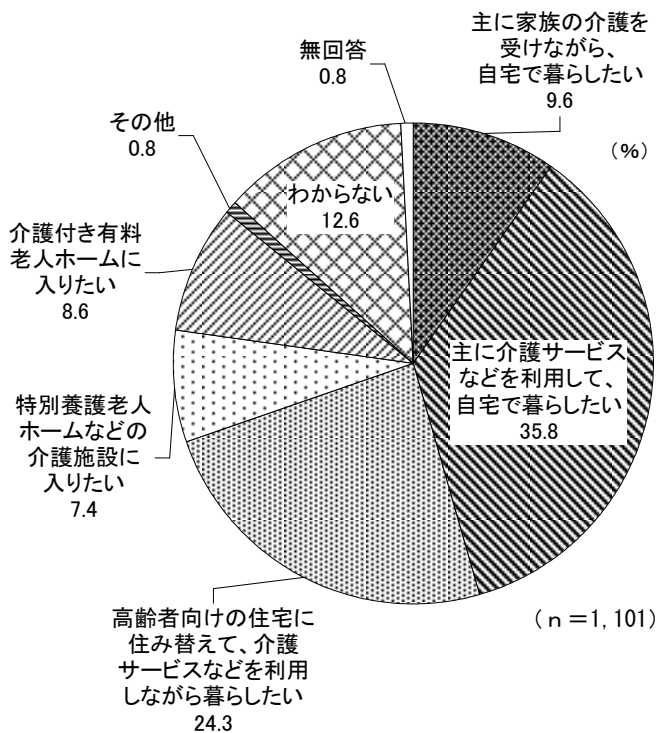


## 4 高齢者施策

### ■要介護時における暮らし方

「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」(35.8%)が3割台半ばで最も高くなっている。次いで、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」(24.3%)、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」(9.6%)、「介護付き有料老人ホームに入りたい」(8.6%)などとなっている。

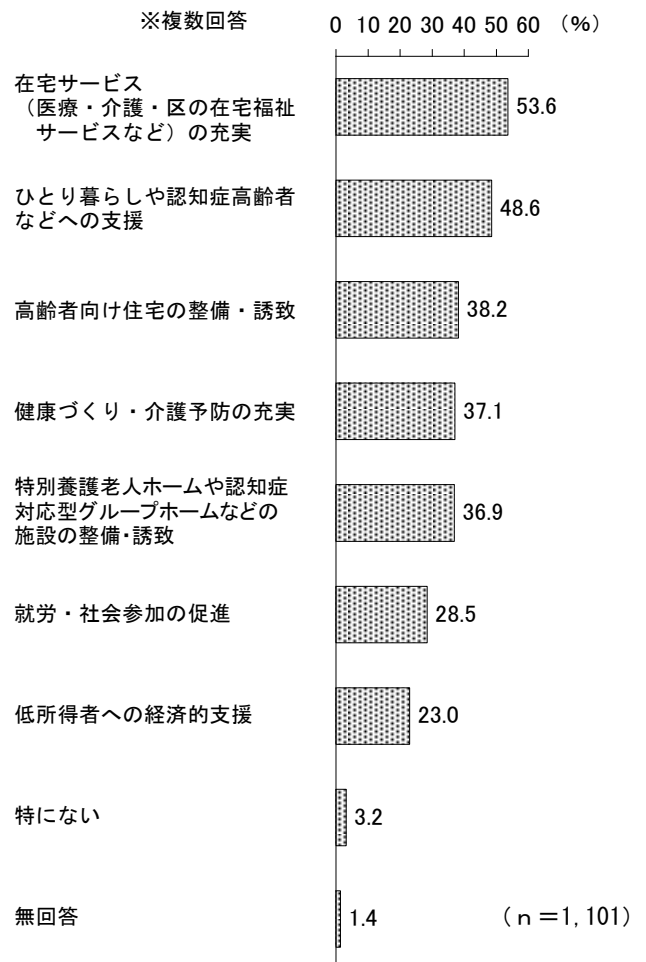
過去の調査結果と比較すると、「介護付き有料老人ホームに入りたい」は令和2年と比べて2.5ポイント減少している。



### ■区に望む高齢者保健福祉サービス

「在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充実」(53.6%)が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援」(48.6%)、「高齢者向け住宅の整備・誘致」(38.2%)、「健康づくり・介護予防の充実」(37.1%)、「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致」(36.9%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

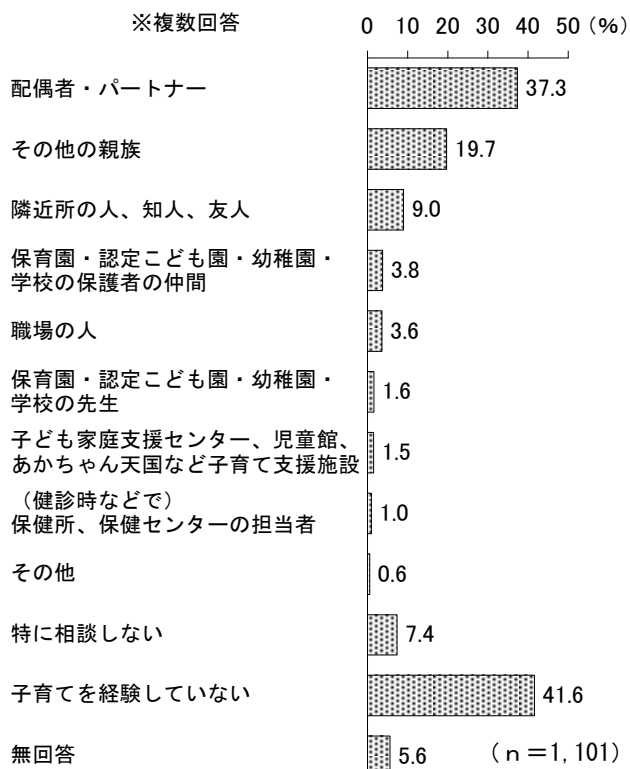


# 5 子育て支援

## ■ 子育てに関する悩みの相談

「配偶者・パートナー」(37.3%)が4割近くで最も高くなっている。次いで、「その他の親族」(19.7%)、「隣近所の人、知人、友人」(9.0%)、「保育園・認定こども園・幼稚園・学校の保護者の仲間」(3.8%)などとなっている。

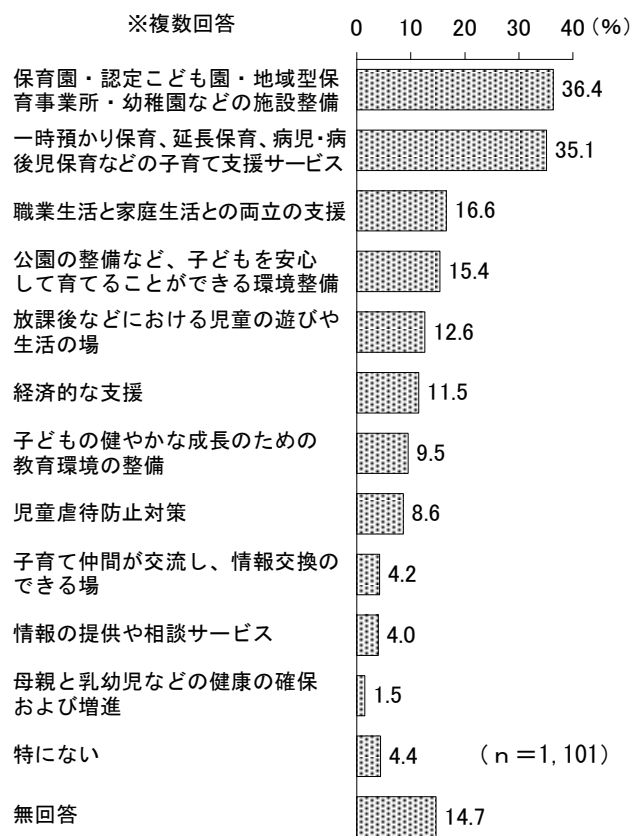
昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。



## ■ 重要と考える子育て支援策

「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」(36.4%)が3割台半ばで最も高くなっている。次いで、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」(35.1%)、「職業生活と家庭生活との両立の支援」(16.6%)、「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」(15.4%)、「放課後などにおける児童の遊びや生活の場」(12.6%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」は3.3ポイント増加している。

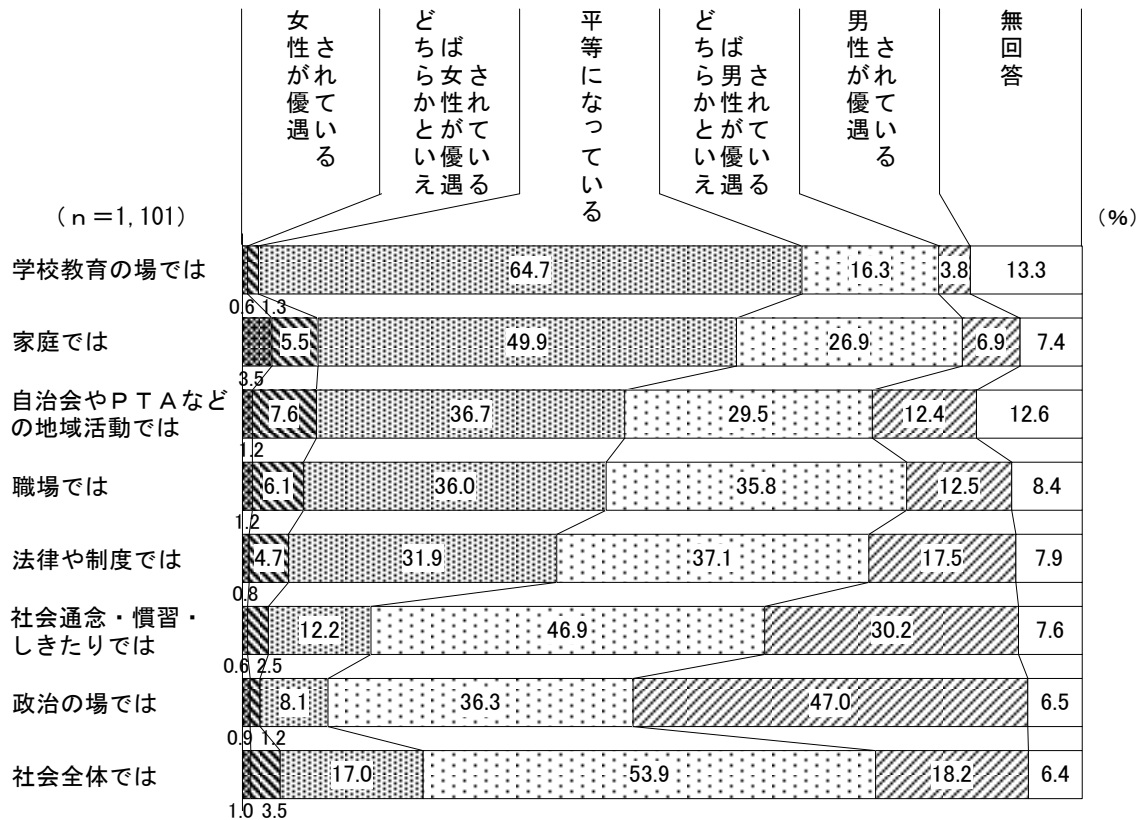


## 6 男女共同参画社会

### ■男女の地位の平等感

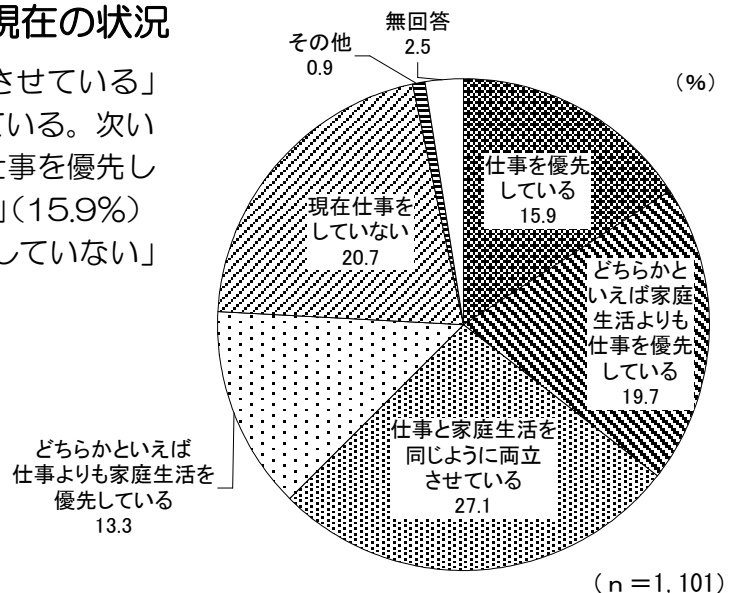
「平等になっている」と感じるのは、“学校教育の場では”（64.7%）で6割台半ばで最も高く、次いで“家庭では”（49.9%）で5割となっている。

「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている』と感じるのは、“政治の場では”（83.3%）で8割を超えて最も高く、次いで“社会通念・慣習・しきたりでは”（77.1%）で8割近くとなっている。



### ■ワーク・ライフ・バランスの現在の状況

「仕事と家庭生活を同じように両立させている」（27.1%）が3割近くで最も高くなっている。次いで、「どちらかといえば家庭生活よりも仕事を優先している」（19.7%）、「仕事を優先している」（15.9%）などとなっている。また、「現在仕事をしていない」（20.7%）は約2割となっている。

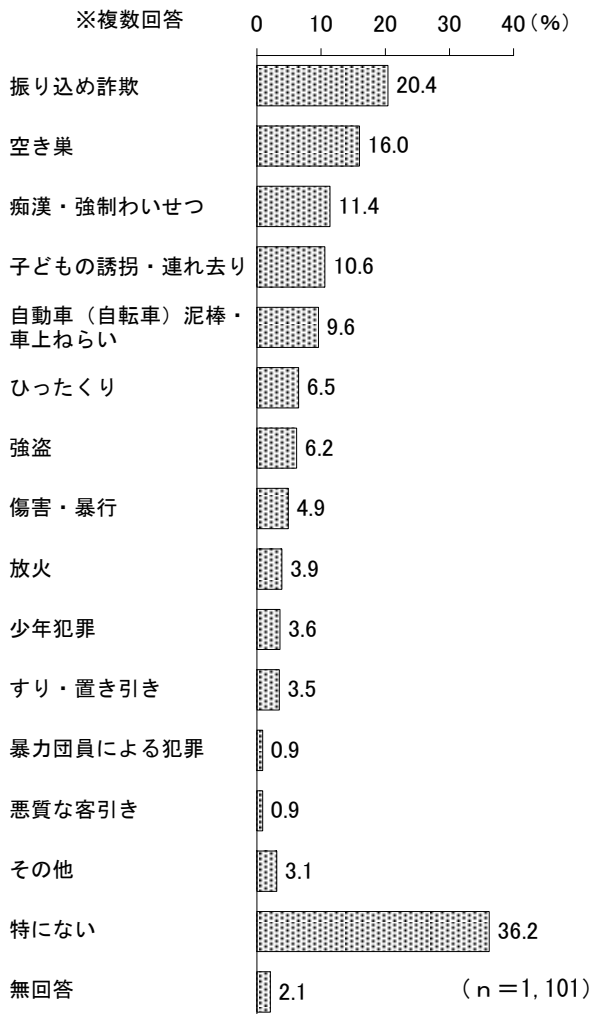


# 7 防犯対策

## ■不安に感じる犯罪

「振り込め詐欺」(20.4%)が2割で最も高くなっている。次いで、「空き巣」(16.0%)、「痴漢・強制わいせつ」(11.4%)、「子どもの誘拐・連れ去り」(10.6%)、「自動車(自転車)泥棒・車上ねらい」(9.6%)などとなっている。一方、「特にない」(36.2%)は3割台半ばとなっている。

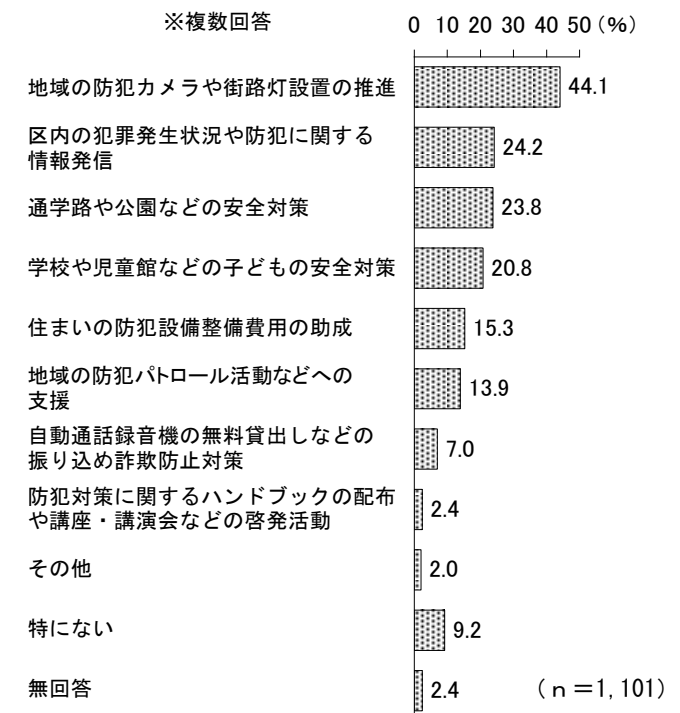
昨年の調査結果と比較すると、「特にない」は3.9ポイント増加している。一方、「痴漢・強制わいせつ」は3.0ポイント減少している。



## ■区に特に力を入れてほしい施策

「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」(44.1%)が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」(24.2%)、「通学路や公園などの安全対策」(23.8%)、「学校や児童館などの子どもの安全対策」(20.8%)、「住まいの防犯設備整備費用の助成」(15.3%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

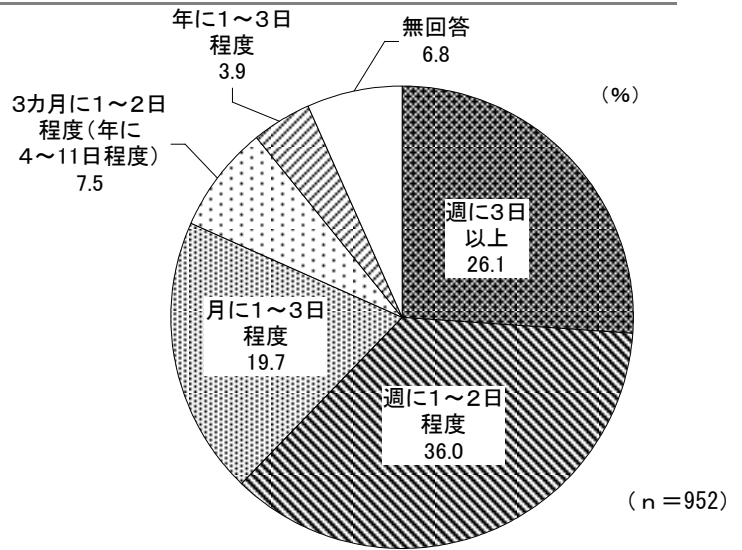




## 8 スポーツ

### ■ 過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度

過去1年間にいずれかのスポーツや運動をしたことがあると回答した方のスポーツや運動の頻度は、「週に1～2日程度」(36.0%)が3割台半ばで最も高くなっている。次いで、「週に3日以上」(26.1%)、「月に1～3日程度」(19.7%)、「3カ月に1～2日程度(年に4～11日程度)」(7.5%)などとなっている。

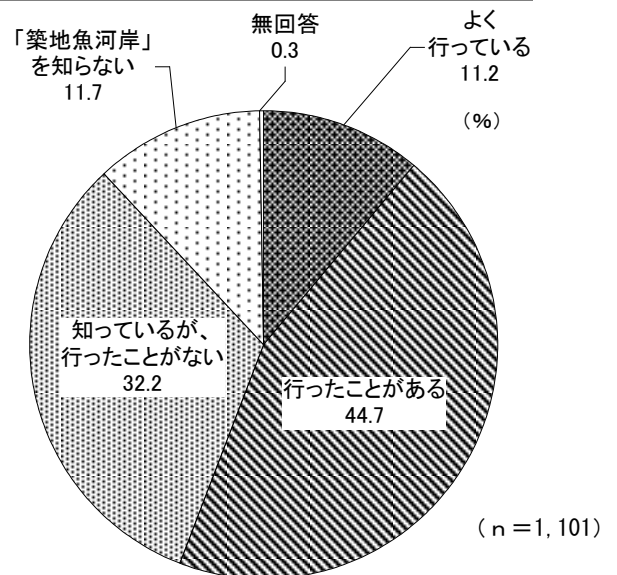


## 9 築地魚河岸

### ■ 「築地魚河岸」への来場経験

「よく行っている」(11.2%)と「行ったことがある」(44.7%)を合わせた『来場経験あり』(55.9%)が5割台半ばとなっている。一方、「知っているが、行ったことがない」(32.2%)は3割を超え、「『築地魚河岸』を知らない」(11.7%)は1割を超えている。

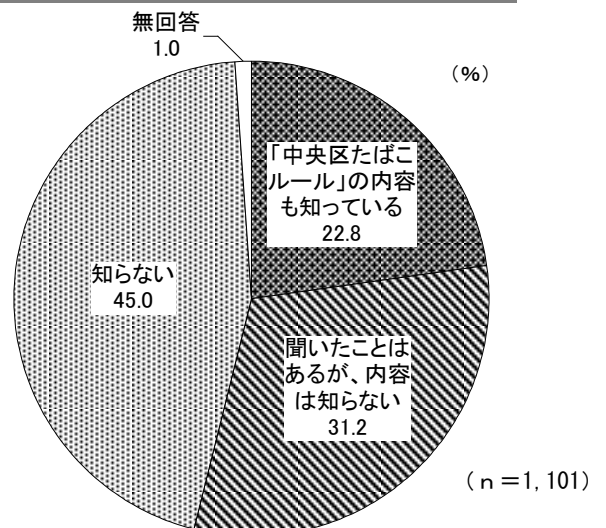
過去の調査結果と比較すると、『来場経験あり』は令和2年と比べて2.0ポイント増加しており、今回調査が過去最高の割合となっている。



## 10 受動喫煙防止対策

### ■ 「中央区たばこルール」の認知度

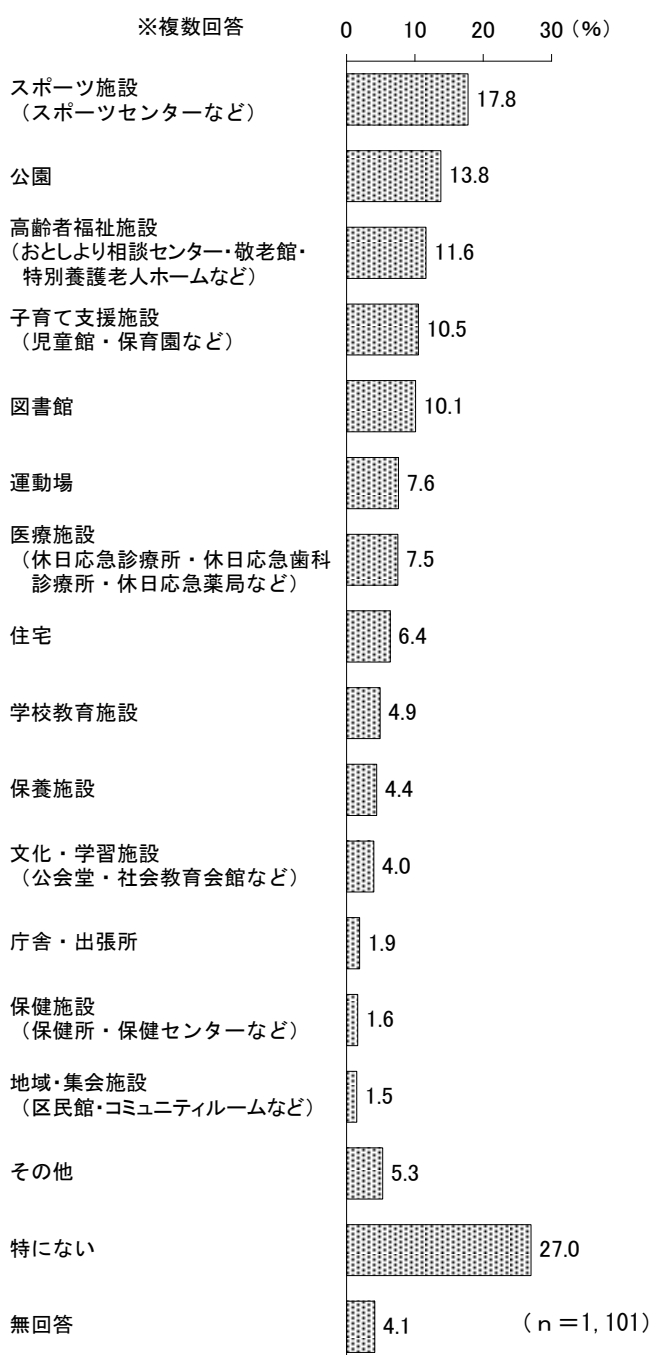
『中央区たばこルール』の内容も知っている」(22.8%)が2割を超えている。「聞いたことはあるが、内容は知らない」(31.2%)は3割を超え、「知らない」(45.0%)は4割台半ばとなっている。



# 11 公共施設

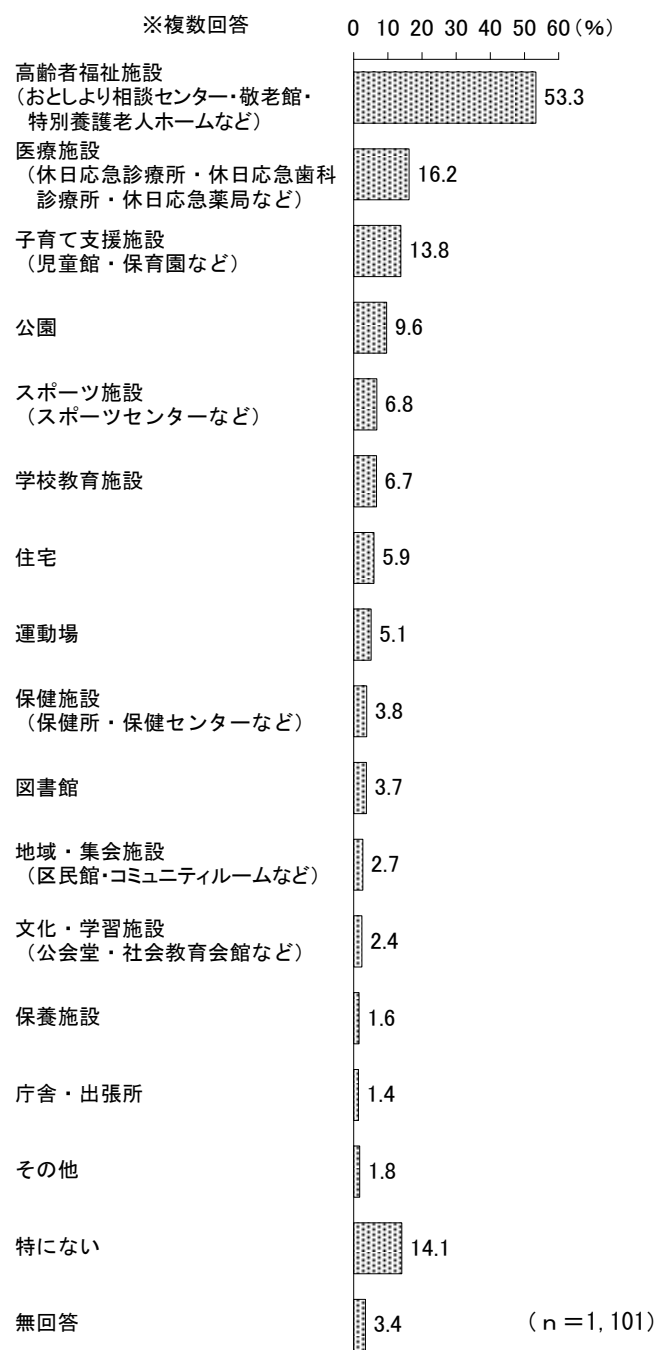
## ■現在不足していると思う公共施設

「特にない」(27.0%)が3割近くで最も高くなっている。次いで、「スポーツ施設(スポーツセンターなど)」(17.8%)、「公園」(13.8%)、「高齢者福祉施設(おとしより相談センター・敬老館・特別養護老人ホームなど)」(11.6%)、「子育て支援施設(児童館・保育園など)」(10.5%)、「図書館」(10.1%)などとなっている。



## ■将来不足すると思う公共施設

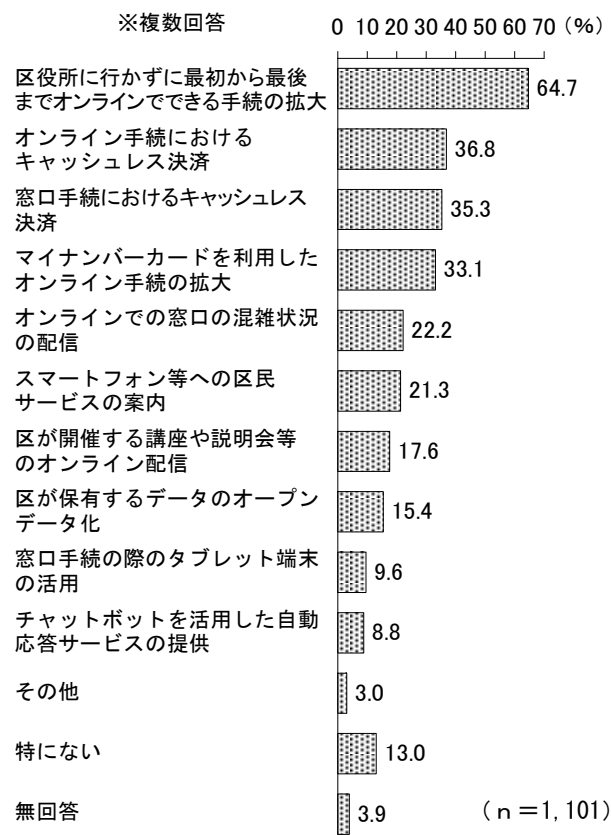
「高齢者福祉施設(おとしより相談センター・敬老館・特別養護老人ホームなど)」(53.3%)が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「医療施設(休日応急診療所・休日応急歯科診療所・休日応急薬局など)」(16.2%)、「子育て支援施設(児童館・保育園など)」(13.8%)、「公園」(9.6%)、「スポーツ施設(スポーツセンターなど)」(6.8%)などとなっている。一方、「特にない」(14.1%)は1割台半ばとなっている。



## 12 デジタル技術を活用した区民サービス

### ■区に進めてほしいデジタル技術を活用した区民サービス

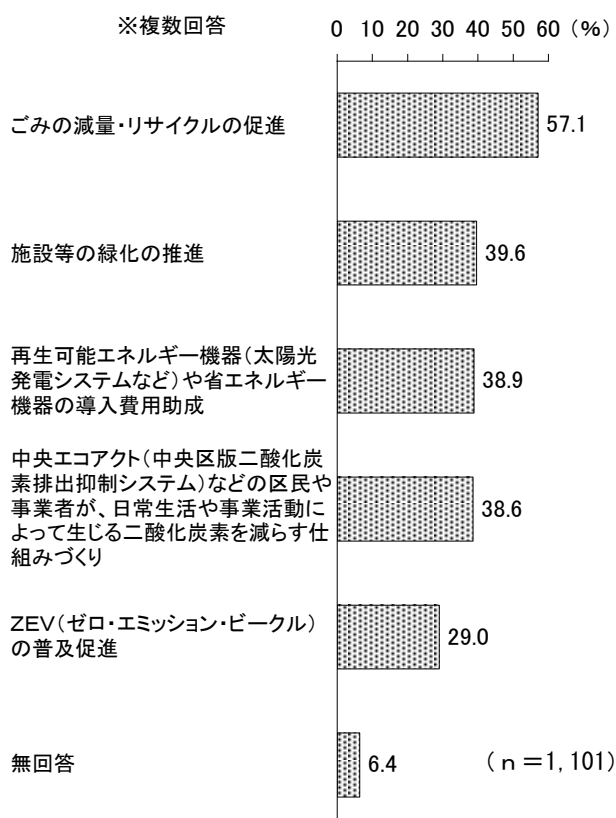
「区役所に行かずに最初から最後までオンラインでできる手続の拡大」(64.7%)が6割台半ばで最も高くなっている。次いで、「オンライン手続におけるキャッシュレス決済」(36.8%)、「窓口手続におけるキャッシュレス決済」(35.3%)、「マイナンバーカードを利用したオンライン手続の拡大」(33.1%)、「オンラインでの窓口の混雑状況の配信」(22.2%)、「スマートフォン等への区民サービスの案内」(21.3%)、「区が開催する講座や説明会等のオンライン配信」(17.6%)、「区が保有するデータのオープンデータ化」(15.4%)、「窓口手続の際のタブレット端末の活用」(9.6%)、「チャットボットを活用した自動応答サービスの提供」(8.8%)、その他(3.0%)、特にない(13.0%)、無回答(3.9%)などとなっている。



## 13 地球温暖化対策

### ■地球温暖化対策に効果的な施策

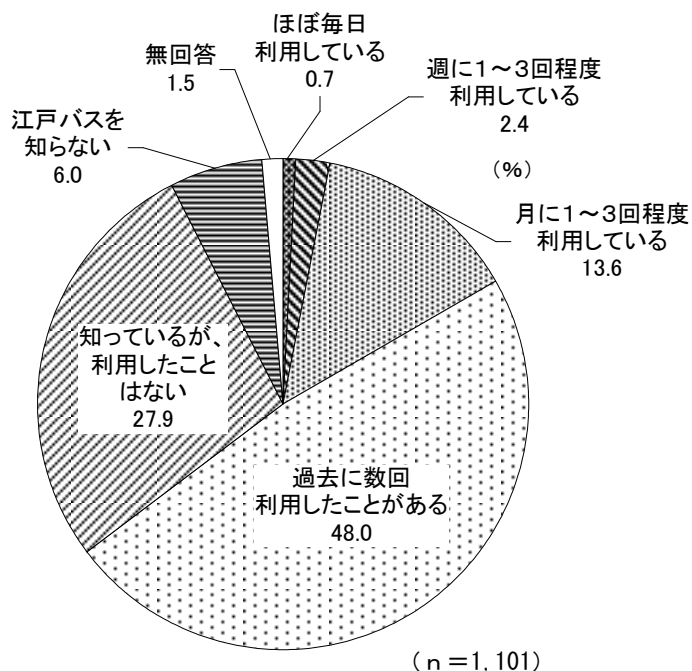
「ごみの減量・リサイクルの促進」(57.1%)が6割近くで最も高くなっている。次いで、「施設等の緑化の推進」(39.6%)、「再生可能エネルギー機器(太陽光発電システムなど)や省エネルギー機器の導入費用助成」(38.9%)、「中央エコアクト(中央区版二酸化炭素排出抑制システム)などの区民や事業者が、日常生活や事業活動によって生じる二酸化炭素を減らす仕組みづくり」(38.6%)、ZEV(ゼロ・エミッション・ビークル)の普及促進(29.0%)、無回答(6.4%)などとなっている。



# 14 中央区コミュニティバス(江戸バス)の運行

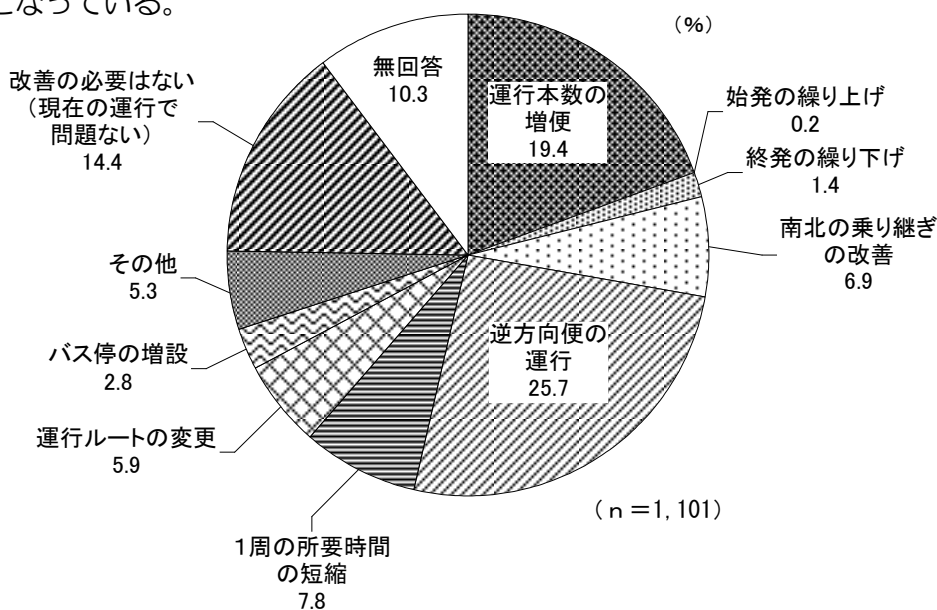
## ■江戸バスの利用頻度

「過去に数回利用したことがある」(48.0%)が5割近くで最も高くなっている。次いで、「知っているが、利用したことはない」(27.9%)、「月に1～3回程度利用している」(13.6%)、「江戸バスを知らない」(6.0%) などとなっている。



## ■江戸バスの利便性向上のために優先すべきこと

「逆方向便の運行」(25.7%)が2割台半ばで最も高くなっている。次いで、「運行本数の増便」(19.4%)、「改善の必要はない(現在の運行で問題ない)」(14.4%)などとなっている。



# 15 施策の要望・評価

## ■区の施策の満足度

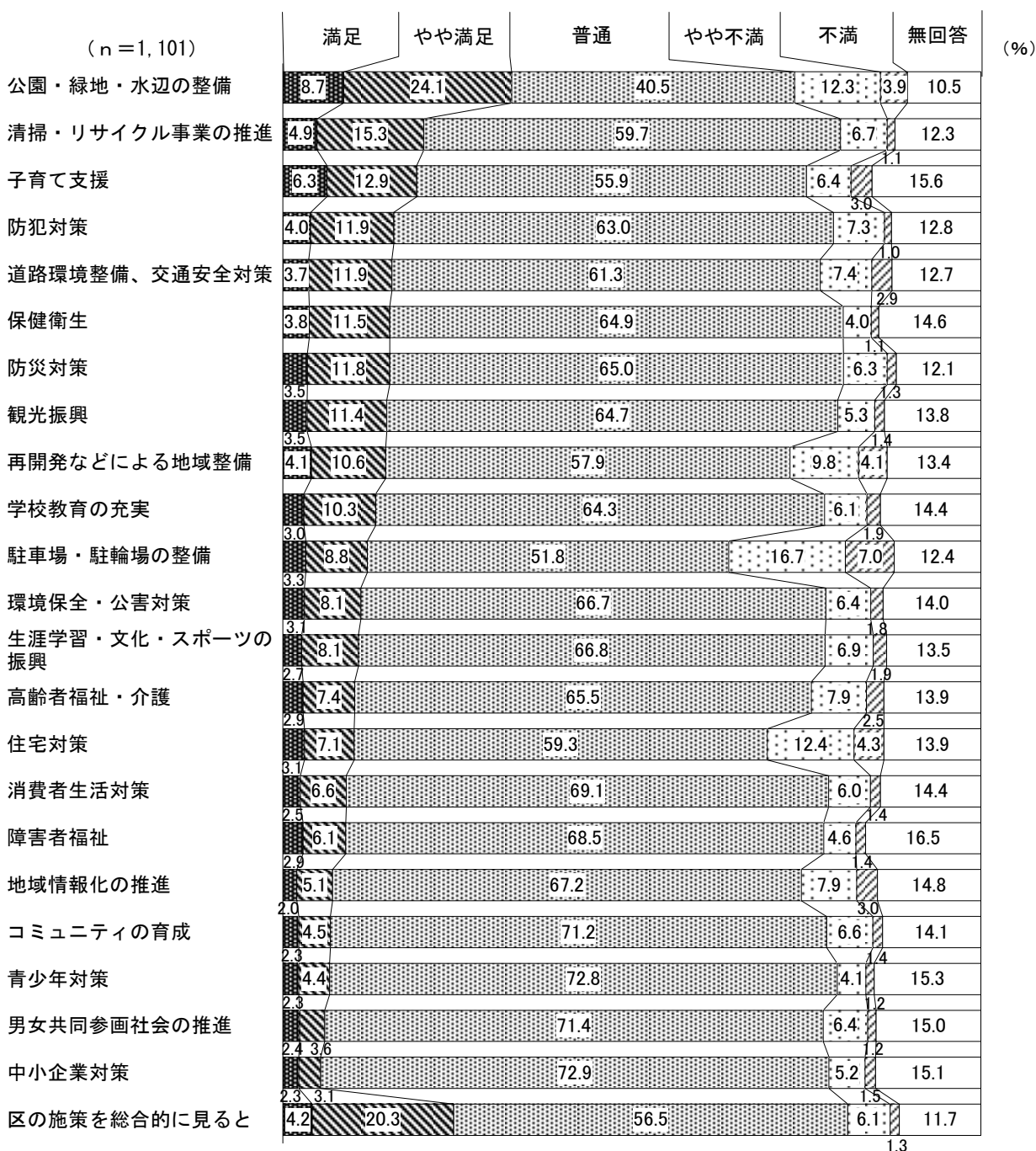
「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とし、「やや不満」と「不満」の合計を『不満足』とした場合の、それぞれの上位5項目は次のようになっている。

『満足』

- ①公園・緑地・水辺の整備 (32.8%)
- ②清掃・リサイクル事業の推進 (20.2%)
- ③子育て支援 (19.2%)
- ④防犯対策 (15.9%)
- ⑤道路環境整備、交通安全対策 (15.6%)

『不満足』

- ①駐車場・駐輪場の整備 (23.7%)
- ②住宅対策 (16.7%)
- ③公園・緑地・水辺の整備 (16.2%)
- ④再開発などによる地域整備 (13.9%)
- ⑤地域情報化の推進 (10.9%)



## ■区の施策の重要度

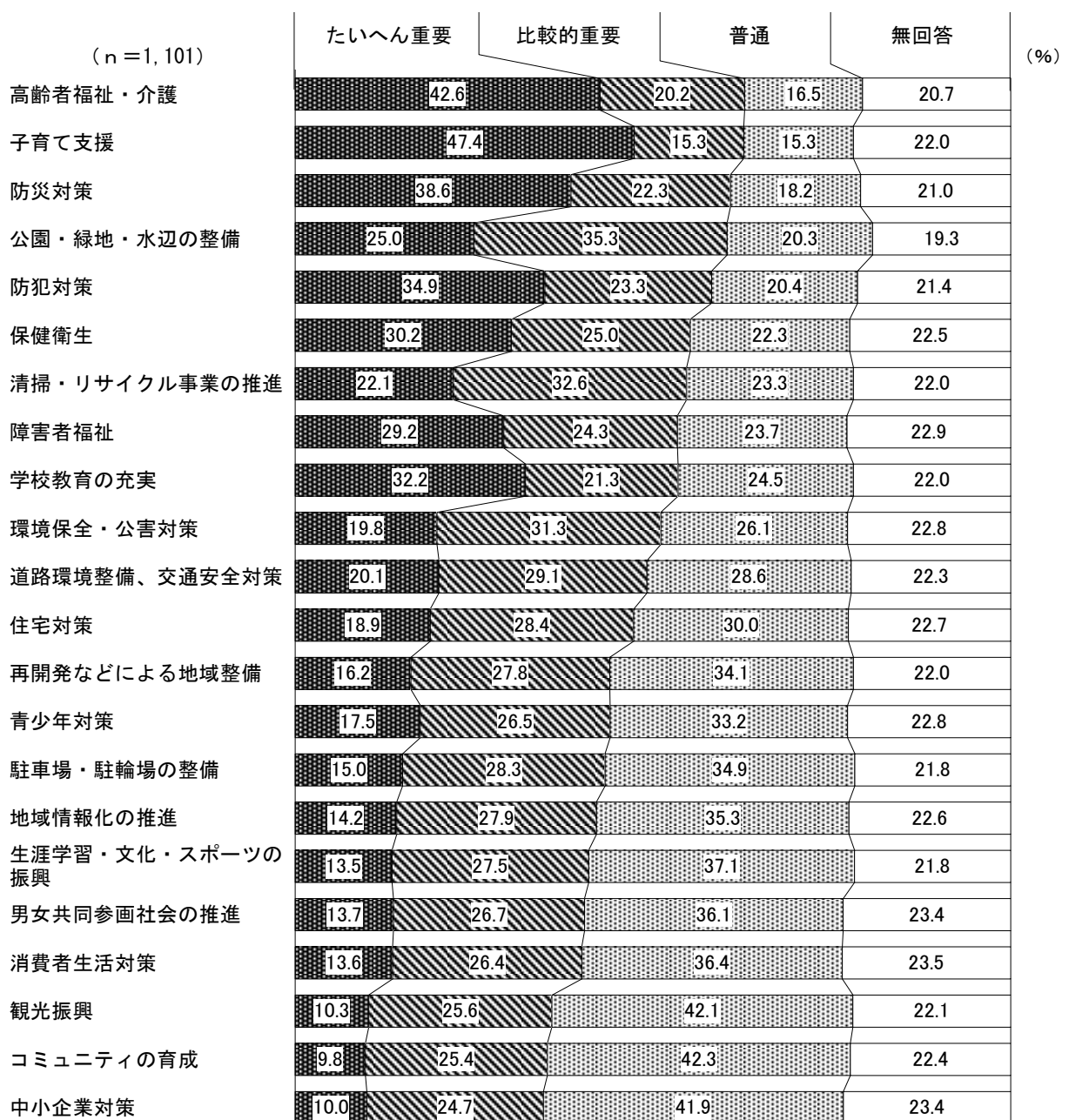
「たいへん重要」と「比較的重要」の合計を『重要』とした場合の、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

上位

- ①高齢者福祉・介護 (62.8%)
- ②子育て支援 (62.7%)
- ③防災対策 (60.9%)
- ④公園・緑地・水辺の整備 (60.3%)
- ⑤防犯対策 (58.2%)

下位

- ①中小企業対策 (34.7%)
- ②コミュニティの育成 (35.2%)
- ③観光振興 (35.9%)
- ④消費者生活対策 (40.0%)
- ⑤男女共同参画社会の推進 (40.4%)



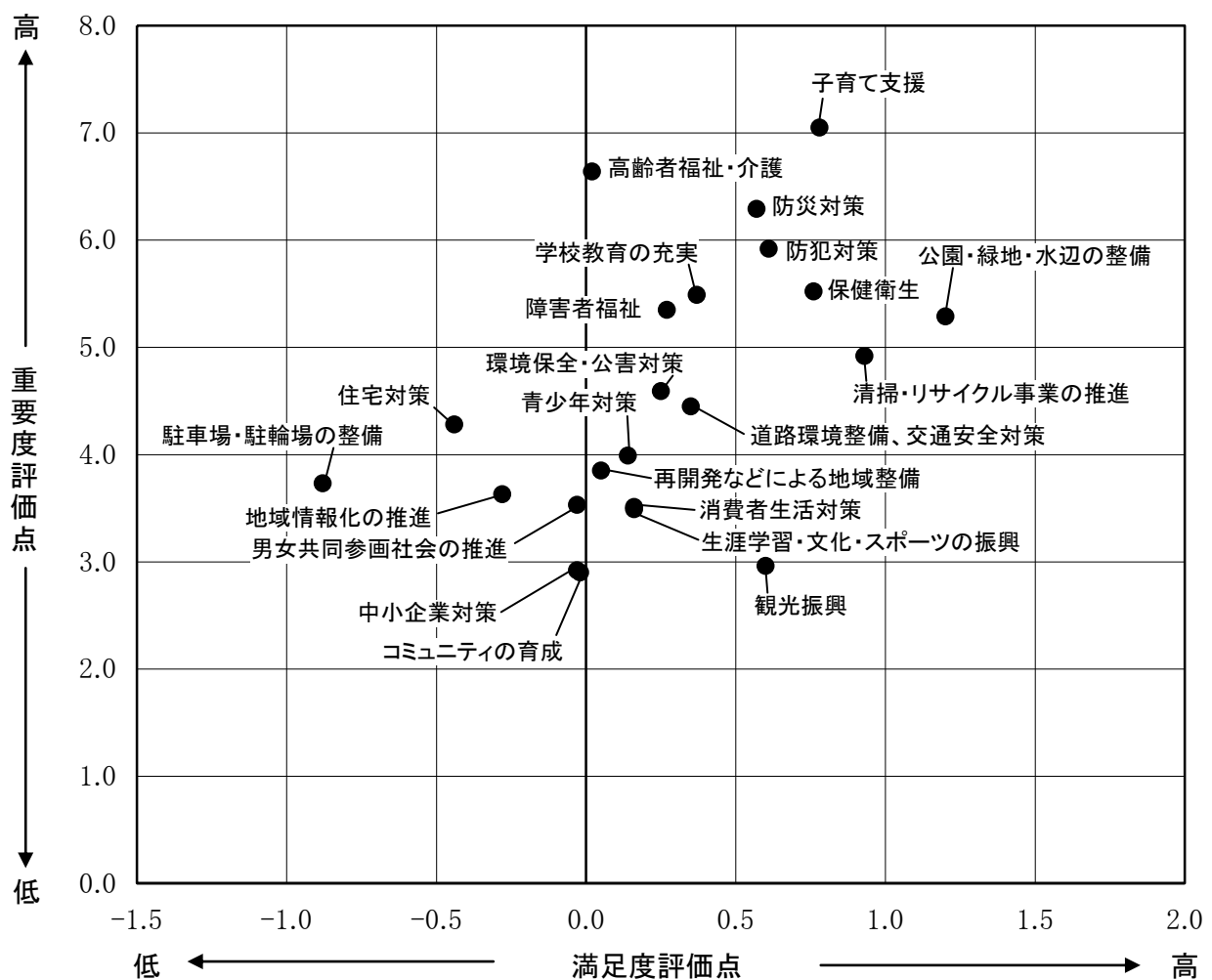
## ■ 区の施策の満足度と重要度の相関

次の図表は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。それぞれの算出方法は以下の通りである。

$$\text{満足度評価点} = \frac{(\text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times \blacktriangle 5 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times \blacktriangle 10 \text{点})}{(\text{回答者数} - \text{無回答者数})}$$

$$\text{重要度評価点} = \frac{(\text{「たいへん重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「比較的重要」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点})}{(\text{回答者数} - \text{無回答者数})}$$

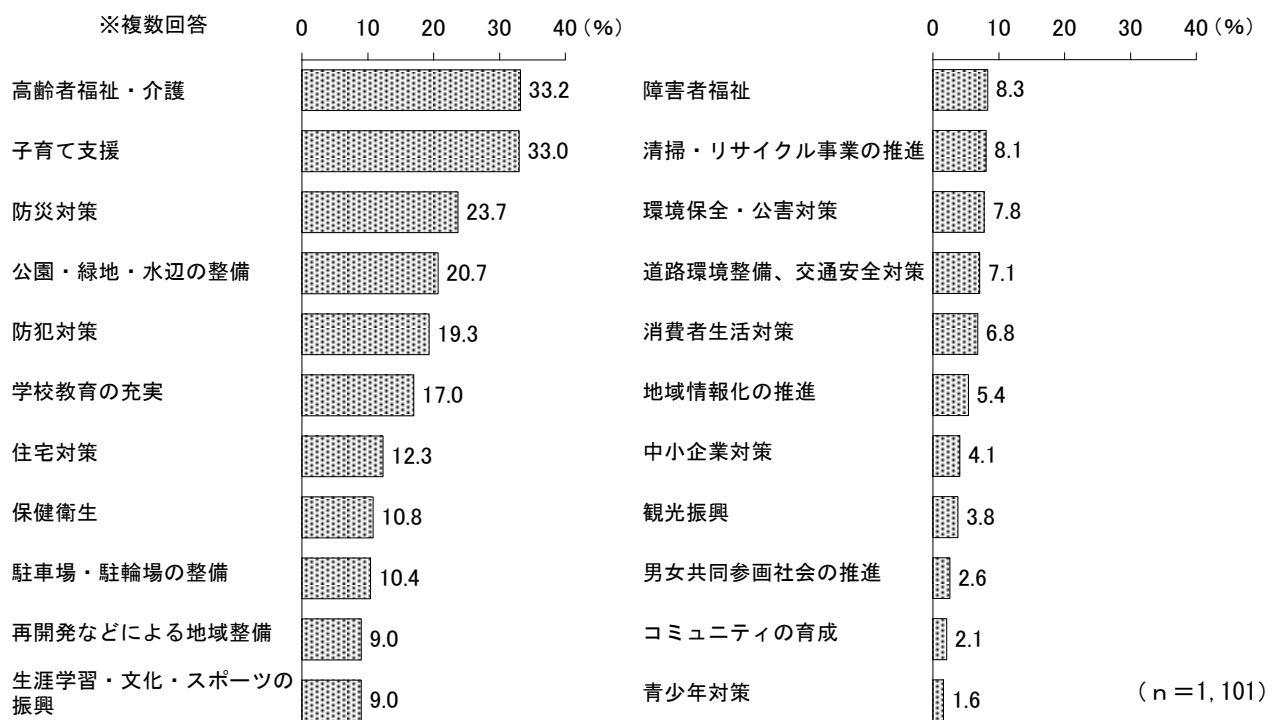
このグラフでは、満足度評価が低く、重要度評価が高い領域（左上方）にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられる。



## ■ 区の施策への要望

「高齢者福祉・介護」（33.2%）と「子育て支援」（33.0%）がともに3割を超えて高くなっている。次いで、「防災対策」（23.7%）、「公園・緑地・水辺の整備」（20.7%）、「防犯対策」（19.3%）、「学校教育の充実」（17.0%）などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。



## 第51回 中央区政世論調査

令和3年9月

発行 中央区企画部広報課  
中央区築地1丁目1番1号  
03 (3546) 5222 (直通)

実施 株式会社エスピー研  
千代田区飯田橋3丁目11番20号  
03 (3239) 0071

刊行物登録番号  
3-047